



白帆祭に熱く燃えた9月も最終日を迎え、少しずつ秋の気配を感じるようになりました。3年生もようやく進路に向けて落ち着いて取り組めるようになったと思います。第1回推薦会議では45名の推薦が内定し、26日には推薦内定者を集めての指導が行われました。センター試験には昨年とほぼ同数の325名が出願し、今週末の一括出願に向けて点検作業を行っているところです。

3年生が最後のセンター試験受験生となる一方で、『**2年生は**』新しい大学入試の最初の受験生となります。2021年(現2年生の入試)から大学入試が大きく変わることを知ってはいても、「具体的に何が変わるのか」、「そのためにどんな準備をすれば良いのか」、詳しい理解ができていない人が多いと思います。そこで先週末、2学年の集会で新しい入試に向けての説明が行われました。

### 【何がどう変わるのか?】

- ①. 入試区分が見直され、「総合型選抜(AO)」や「学校推薦型選抜(推薦)」ともに学力を問う試験が必須化される。逆に一般選抜では、志望理由書、ポートフォリオ、面接などが導入される。
- ②. 「大学入学共通テスト」が導入され、全てがマークテストであった「センター試験」に対し、国語と数学で記述問題が導入され、英語リスニングの配点が大きくなる(筆記100:リスニング100)
- ③. 「英語民間検定試験(英語外部検定試験)」が活用され、「話す」試験が必須となる。

⇒自分が受験する(可能性のある)大学・学部・選抜がそれぞれどのような入試を実施するのか、特に「英語民間検定試験」をどのように利用するか・しないかなどを「自分で」調べ、「自分は」どの検定試験を、どの受験期間に受験するか、「自分で」判断し、「自分で」申し込む必要があります。『自分で』それらができるか、そこからもう選抜が始まっているのです。

## 先輩方から キャンパス レポート (2)

### 『大学生活を味わってみて』

寺島 颯真

法政大学 国際文化学部 国際文化学科

千葉西高校の皆さんこんにちは。私は現在、法政大学 国際文化学部 国際文化学科に在籍している卒業生です。まず私の学部では国際系だけあって世界を視野においた授業や英語、朝鮮語などの言語の授業に重点を置いています。文系の割には課題が多く感じますが、国際文化学部では二年生の時に留学をすることが必須なので妥当だし、それに留学することが夢だったのでモチベーションを上げながら積極的に授業を受けています。また千葉西高校の先輩や同級生と同じサークルに入っているので大学だけドアットホームな感じで過ごしています。

さて行事が終わり、受験生の皆さんはラストスパートに入りだしていると思います。模試の成績、志望校決めなど不安なことがたくさんあると思いますが、周りの西校生に相談してみたり、一年後の自分を想像したりしてみるといいと思います。西校生のみなさん! 本当にこの時期はとともつらいと思いますが、あきらめずに努力すればするほどいい結果に近づくので、残りの数か月頑張ってください。卒業生として応援しています。

### 『私の大学生活』

鹿野又 祐衣

埼玉大学 教育学部 学校教員養成課程 中学校コース 言語文化専修 国語分野

西高のみなさん、こんにちは! この3月に卒業し、進路懇談会にもお邪魔させていただきました鹿野又

です。去年の今頃は片道1時間の電車通学で、帰ってきたら文化祭の準備と小論文とセンター試験の勉強でいっぱいでした。今ではなんと大学～アパート間は徒歩10分で、8時半に家を出て9時からスタートの1限に間に合う生活が送れます。私のように関東圏内での一人暮らしは、家事スキルが身につくのはもちろん、土日で気軽に実家にも帰ることもできて、親も喜ぶし自分自身も安心感が大きいのでおすすめです。

次、大学では何をしているか。とにかく正式な所属表記が長いので、私のいるところは通称“こくせん”と呼ばれ、その数9人しかいません。誰も一緒に座ろうなんて言っていないのに、気付くと男女問わず9人でいつも固まって授業に出るくらい仲良しです。とはいえ“しゃかせん”や“りかせん”など、他の教科専修の1年生みんなで一斉に受ける授業が前期はほとんどだったので、他にもちゃんと友達はできました。どの授業でもレポートやプレゼンが課されて、答えの決まっていない問いについて考えることが増えたと思います。時間さえあれば資料を集めてレポートは書けるので、バイトやサークルばかり優先せず計画的に取り組むのが大事ですね。

サークルは、BBS（ボランティア）とSBC（ラジオ）の2つで活動しています。ラジオは先輩から半ば強引に誘われたのですが、10月からFM浦和でのラジオ番組のパーソナリティをやる流れになってしまい、人生って何があるかわからないなあ実感しています。頑張ってるのですが、実際の放送は聞かないでほしいのでこれ以上の情報は割愛させていただきます。

学校名、分野、卒業後の就職先など、人それぞれ進学先を選択するうえで重視する観点は違うだろうし、苦しいことや迷うこともたくさんあると思いますが、専門であれ短大であれ4大であれ学びたいという気持ちはみなさん同じだと思います。合格はゴールではなく、スタートだと私は思っています！みなさんが素敵なスタートダッシュを切れることを祈っています。

## ①【1年生：7月記述模試の結果から】

1年生にとって初めての全国規模の模擬試験(受験者数46万人)でした。学年全体を過去数年間と比較すると、数学で過去最高、全科目とも偏差値50.6以上のバランスの良いスタートを切ることができました。とはいえ総合偏差値は51.5です。この数字は高校受験時の自分の偏差値と比較しておそらく10ほど低く(千葉西高校の偏差値は60前後)、今回の模試の結果を見て愕然とした1年生もいると思います。しかし、これが大学進学希望者の中での自分の今の位置である事を理解し、ここからスタートしましょう。まずは今回の模試結果から見える自分の課題点を洗い出し、正しく認識してください。高校生活の基本である授業に毎時間、真剣に取り組み、家庭でも毎日必ず机に向かう習慣を絶やさない。こうした日々の積み重ねは、2年後に必ず実を結ぶはずですよ。

